

# 第 1 5 回 東京都テコンドー選手権大会 要項

## 【1】名称

第 1 5 回 東京都テコンドー選手権大会  
— 第 2 3 回 全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 出場選手選考会 —  
(開催日 2 0 1 2 年 1 1 月 2 3 日 金曜日祝日 午後 5 時 0 0 分開始  
会 場 後楽園ホール・東京ドームシティー内)

## 【2】主催

東京都テコンドー連盟 会長 盛島一盛  
東京都品川区南大井 4 - 1 3 - 1 5

## 【3】後援

日本テコンドー協会

## 【4】目的

- 1) ルールを尊ぶ J T A テコンドーの試合を通じて東京都民等の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) J T A テコンドー愛好家の親睦を目的とする。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンドーを通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 第 2 3 回 全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 出場選手選考
  - ① 一部組手各階級優勝者及び準優勝者で蹴美に秀でている選手には全日本大会出場権を与える。ただし、<イ>各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手が優勝した場合、審議の末、上記の全日本大会出場権を与えない。  
<ロ>関東圏選手は、重要な組手総見(10月・11月実施)への参加を義務付ける。不参加の場合、例外なく、出場権を取り消す。
  - ② 一部蹴武の型優勝者には全日本大会出場権を与える。準優勝者は、選抜出場推薦候補とする。
  - ③ 本大会は、少年少女部全日本大会蹴武型出場選手選考会も兼ねる。  
選抜選手は、中学生以下とし、少年少女部型試合入賞者の中から選抜する。
  - ④ 上記の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場者は、有段者または10月末迄に昇段審査を受験し合格している者に限る。

## 【5】開催日時

2 0 1 2 (平成 2 4) 年 7 月 1 6 日 (月・祝日) 1 6 時 3 0 分開始 (早まる可能性あり)  
開場：選手集合、受付、計量開始 1 5 : 3 0 ~

## 【6】開催場所

大田区総合体育館 (サブアリーナ)

東京都大田区東蒲田 1 - 1 1 - 1 TEL (0 3) 5 4 8 0 - 6 6 8 8

電車 京急線、梅屋敷駅徒歩5分、京急蒲田駅徒歩7分、JR線・東急線、蒲田駅徒歩15分

## 【7】参加資格

- ① JTA有級者 (黄帯・7級以上)、有段者。
- ② 健康であり、かつスポーツ安全保険に加入している者。
- ③ 一部組手および型は、赤帯～有段者。制限無し。
- ④ 一部蹴武型は、赤帯～有段者。制限無し。
- ⑤ 二部組手は、茶帯～有段者。または過去の各種大会で入賞経験を有する 4級以上の有級者。
- ⑥ 二部蹴武型は、有級者。制限なし。
- ⑦ 三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。
- ⑧ 四部少年少女部組手および型試合は、黄帯～黒帯。制限なし。

## 【8】試合種目・表彰

組手および蹴武型試合は、いずれの階級もエントリー選手が

- ① 6名以下の場合、最も近い級と統合する場合がある。
- ② 7名以下の場合、3位は記録としては残すが表彰しない場合がある。
- ③ 32名以上の場合、3位決定戦は行わない。3位は2名とする。

### 一 組手

#### 1 一部 フルコンタクト・テコンドー組手試合

最優秀選手1名、トロフィー授与

一部組手及び一部蹴武型の二種目で優勝（もしくは入賞）することが望ましい。

##### 1) 無差別級組手

優 勝：メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第23回全日本FT大会出場権を与える

準優勝：メダルと賞状

三 位：メダルと賞状

##### 2) 軽量級（63kg未満）組手

優 勝：メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第23回全日本FT大会出場権を与える

準優勝：メダルと賞状

三 位：メダルと賞状

注意 少数の場合、無差別級と統合するが、1回戦は軽量級は軽量級同士の対決とする予定。

##### 3) 女性無差別級組手

優 勝：メダル、賞状、蹴美に秀でている場合に限り第23回全日本FT大会出場権を与える

準優勝：メダル、賞状

三 位：メダルと賞状

#### 2 二部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

① 軽量級（63kg未満） ～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

② 中量級（70kg未満級） ～ 同上

③ 重量級（70kg以上） ～ 同上

④ 女性無差別級（胴防具着用） ～ 同上

#### 3 三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

① 軽量級（63kg未満） ～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

② 中量級（70kg未満級） ～ 同上

③ 重量級（70kg以上） ～ 同上

④ 女性無差別級（胴防具着用） ～ 同上

#### 4 四部 J T A 少年部特別ルール組手

J T A 少年少女部組手特別ルールによる（本部HP参照）。

少年少女部はテコンドー蹴士らしい組手スタイルを望みます。

J T A が最も力を入れている後横蹴りや飛び後横蹴り、横蹴り、かかと落とし蹴等の限定された蹴り技で競わなければなりません。

フルコンタクト空手やキックボクシング等が得意な回し蹴りは、蹴美とは言えません。

万一の事故を防止するため回し蹴り（後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む）は禁止します。

小学生の階級分けの体重は、申請時の参加希望選手の体重状況により、主催者が判断します。

ワンマッチでも実施しますが、参加選手4名以下の場合、優勝者のみ表彰します。

① 少年部乙（小学校低学年1～3年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

② 少女部乙（小学校低学年1～3年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

③ 少年部甲（小学校高学年4～6年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

④ 少女部甲（小学校高学年4～6年生）～ 優勝、準優勝、3位（1名）：メダルと賞状

⑤ 中学生男子軽量級（50kg未満） ～ 同上

⑥ 中学生男子中量級（50kg以上） ～ 同上

\* 少年部・少女部組手の1回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。

\* 体重差を考慮し、統合する場合があります。

\* 女子中学生は一般の試合にエントリーして下さい。有段者でも二部または三部に参加できます。

## 二、蹴武型試合（全種目男女混合）

- 1、一部蹴武の型試合（中学生以上の有段者・茶帯）  
優勝、準優勝者：メダルと賞状
- 2、二部蹴武の型試合（有級者。中学生参加可）  
優勝、準優勝者：メダルと賞状
- 3、三部少年少女部（有級者・有段者）
  - ①小学生低学年（3年生以下。未就学者可）～優勝、準優勝：メダルと賞状
  - ②小学生高学年（4年生～6年生）～優勝、準優勝：メダルと賞状
  - ③中学生～優勝、準優勝：メダルと賞状

### 【9】試合ルール等

## 一、組手試合ルール

### 1、試合ルール

- ①1部 新JTAフルコンタクトテコンドー・ルール（蹴美7WILLルール）
- ②2部、3部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール
- ③少年少女部組手  
JTA少年少女部組手特別ルール  
万一の事故（失明等）を防止のため、ヘッドギアと胴防具の着用を義務づける。  
回し蹴り（後回し蹴りや飛び回し蹴り蹴りも含む）を禁止します。

### 2、試合時間、判定基準等

#### 1) 試合時間

- ①1部本戦2分1R。  
延長戦2分（2R迄）。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。
  - ②2部・3部本戦2分1R。  
延長戦2分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。
  - ③4部少年部本戦1分1R。  
延長戦1分（1R迄）。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。
- 2) 敵点2、又は注意6で「失格」とする。
- 3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。
- 4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

### 3、その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。  
ただし、予選会における蹴美審判は1名とする。

## 二、蹴武の型・試合ルール

JTA蹴武の型・全日本予選会ルール。

- ①選手は、蹴武の型を自由に選択し、試合を行う。
- ②トーナメント勝ち残り方式とする。
- ③男女混合、有段者・有級者混合とする。よって有段者と有級者とが対戦する場合もある。
- ④3名の審判が、旗（青もしくは赤）を上げて勝者を決定する。旗が多く上がった方を勝者とする。
- ⑤各審判は、引き分けを宣告できる。その場合、延長戦（1回のみ）を行う。  
延長戦の場合、審判はいずれかを勝者と認定しなければならない。  
選手は、延長戦の場合、蹴武の型を変更できる（同じ型でも可）。  
延長戦での変更した型は、成功すれば、判定上、有利になる場合がある。

たとえば、A選手が型を変更し、B選手が同じ型で延長試合を戦ったと仮定する。

いずれも成功し、甲乙つけがたい場合、A選手が2つの型を修得したという事実は、それだけB選手よりも練習をしている（＝努力している）とみなせる。

また、延長戦での複数の型の実演は、失敗するリスクも高いので、それを克服して成功させたという精神性も評価できる。よって、この場合、審判は、A選手を勝者と判定する場合がある。

## 【10】大会出場申込

2012（平成24）年7月7日迄（当日消印有効）、

参加費用 組手試合のみ ￥4000

蹴武の型試合のみ ￥4000

組手&蹴武の型試合 ￥6000

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え（コピー可）を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

### 1、参加費振込先

〔口座番号〕 00100-5-568263

〔名義〕 東京都テコンドー連盟

### 2、申込書送付先

〒140-0013

東京都品川区南大井4-13-15

東京都テコンドー連盟 御中

## 【11】大会役員

大会名誉会長 河 明生 大会会長 盛島一盛

実行委員長 武田敬之 審判部長 仮屋山敏志

審判 仮屋山敏志、吉川真、小川浩平、井上哲朗、尾崎圭司、他

司会・佐藤裕樹、試合進行・西谷信一郎、他 賞状執筆・藪内晴美 医務救護・岩下徹

## 【12】注意事項

- ① 試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ② 電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ③ 所属クラブ長・責任者に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ④ 理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ⑤ 試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。
- ⑥ 各種保険証の現物を持参して下さい。  
骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、各クラブは病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、
- ⑦ 当該会場体育館・武道館で、「ゴミの持ち帰り運動」を実施します。  
各クラブは「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また体育館・武道館内は禁煙です。
- ⑧ ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。  
体育館・武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

## 【13】観覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。

ただし、大会関係者の指示に従ってください。

ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。

体育館・武道館の定める飲食禁止場所以外での飲食や喫煙、違法駐車は禁止します。

第15回東京都テコンドー選手権大会参加申込書  
大会会長 盛島一盛 殿

私は、下記の事項を誓約します。

- 一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。
- 三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。  
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓います。
- 五、私は、自己の所属するクラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しております。
- 六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。

本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険と契約）

死亡 1千万、後遺障害（失明など）1千万、入院1日6千円、通院1日4千円

上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所  
(ふりがな)  
氏名

印

保護者 住所

氏名

印 \*18歳未満、高校生以下必要

\*記入漏れがある場合、失格となります。

所属クラブ名

参加費振込証明添付

指導者サイン

現級・段 年齢 歳

身長 C m 体重 K g

\*のり付けして下さい

過去（1年以内）の大会成績

1

2

出場種目（当日計量の際、申告体重を超えた場合は失格となります。）

組手&型の2種目出場者は、1枚の申請書で2ヶ所に○をしてください

一部組手 ①無差別級 ②軽量級 ③女性無差別級

二部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女性無差別級

三部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女性無差別級

四部組手 ①少年部乙低学年 ②少女部乙低学年 ③少年部甲高学年

④少女部甲高学年 ⑤中学生男子軽量級 ⑥中学生男子中量級

蹴武型 ①一部 ②二部 ③三部小学生低学年以下 ④三部小学生高学年 ⑤三部中学生